



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....
SUITA ESAKA ROTARY CLUB
CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:庄瀬 寛 幹事:橋本 豊 会報委員長:北山陽一

2011年9月13日 第1012回例会(第1011号)

🌀 本日の例会 🌀

今週の歌 「日も風も星も」

クラブアッセンブリー

「公式訪問に向けて」

司会 橋本 豊 幹事

🌀 次回例会のお知らせ(9月20日) 🌀

卓話 「原発があぶり出した

日本社会」

池田知隆様

(西村会員紹介)

本日の会長の時間

「再開発の話」

庄瀬 会長

東京の墨田区押上に1万2,000坪の再開発事業が行われています。中心に32階建の7万坪の商業ビルが建ち、横に東京スカイツリーが位置します。関西では、40年前に大阪駅前再開発があり、長い間テナントがつかまませんでした。30年前に上六ハイハイタウン再開発があり医療階の空室が問題でした。10年前の豊中蚩ヶ池再開発はモノレールと阪急電車の拠点に計画されましたが、スーパーの新テナントだけであとは豊中市が借上げました。北区中之島再開発はオペラハウスと近代美術館が建つ計画で地元の立退交渉を進めたのですが途中から頓挫です。再開発が成功するか失敗するかは地元にとって大きな賭です。都市計画専門の優れた建築家がいなかったためやってみなければ結果はわからない事業です。はたしてスカイツリーが東京下町のシンボルになるでしょうか？

前回〔9月6日〕例会記録

幹事報告

橋本 幹事

2011 - 2012年度地区大会の案内を配付しました。登録申込書記入の上9月27日までに事務局へ提出をお願いします。なお、登録料@5,000円は次週より集めさせていただきます。赤尾クラブ運営委員長よりよろしくお願いします。

新世代奉仕委員会正副委員長会議の案内

日時：10月8日(土) 13:45~14:45

場所：大阪科学技術センター

西本委員長よりお願いいたします。

地区ローターアクト親子会9月度大阪北ゾーン連絡協議会の案内

日時：9月24日(土) 19:30~21:00

場所：ガバナー事務所

西本委員長よりお願いいたします。

10月4日は矢橋ガバナー補佐訪問です。

出席報告

飛田 委員

【9月6日】

在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 31名(内出席規定適用免除者 7名)

ホームクラブ出席率 81.58%

8月9日のMUを含む出席率 94.74%

関西大学RAC例会出席担当

9月26日(月)

Cグループ 金馬、西村、榎谷、栢本

田中(弘)各会員

会場：中央体育館 図書資料室

時間：19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

ニコニコ箱

杉本会員 連続欠席すみません。
寺井会員 前回、欠席のお詫び！
本日分 8,000円
累計 338,000円

9月お誕生日

12日 吉野通洋会員
25日 庄瀬寛会員

9月ご夫人お誕生日

22日 田中恵津子様(田中(茂)会員)

9月結婚記念日

15日 今村啓志会員

プログラム委員会 金馬委員長

来る9月20日(火)の卓話は、西村会員の紹介による池田様にお越し頂きます。

「原発があぶり出した日本社会」というテーマです。会員増強の為にも知り合いの方をお誘い下さい。

卓話

「新世代のための月間に因んで」

西上博幸 地区研修委員

今月は、新世代のための月間でございます。五番目の奉仕活動として採択されました【新世代奉仕】の説明と地区の動向についてお話をいたします。

ロータリーの奉仕活動は、1927年に、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に分ける四大奉仕が採用され、今日まで長年に亘り四大奉仕の活動が取組みされてきました。83年後の2010年4月の規定審議会で、もともと社会奉仕部門に位置づけされていた青少年奉仕を新世代奉仕として第五番目の奉仕部門に加え、五大奉仕となりました。このことは、ロータリーが、未知数の力を秘めている若者に奉仕する意義と必要性を感じた結果である、といえるでしょう。

標準ロータリークラブ定款・第5条は、ロータリーの五大奉仕部門がロータリーのクラブ活動の理念および実践の規準であることを述べた上で、五大奉仕を具体的且つ明解に定義しています。

そして、奉仕の第五部門である新世代奉仕は、「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらされる

ことを認識するものである。」と述べられています。

つまり、第5項には、新世代奉仕の目指すところは、新世代に関わる種々の活動・プロジェクト・交換プログラムを通して、青少年や若者は社会に好ましい変化をもたらす存在になることを、ロータリアンが認識することであると述べられています。

ロータリアンは、年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることです。すべてのクラブと地区は、基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するように奨励されています。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発です。

新世代の奉仕に関するプロジェクト中でも、教育ではロータリー青少年交換、自己開発では、インターアクト、ローターアクト、RYLAが理事会で採択されたRIの常設プログラムであります。

RI第2660地区の新世代奉仕部門は、次の委員会および支援団体で構成されています。

青少年活動委員会(チームライラ、RAC)、インターアクト委員会(IAC)、ローターアクト委員会(RAC)、青少年交換委員会(ROTEX)

部門は異なりますが、同様に新世代の活動に取り組んでいるロータリー財団部門では、財団奨学金・学友委員会(PSC)、研究グループ委員会(GSE)と米山奨学部門では米山奨学委員会(米山奨学生)が活動しています。

また、新世代奉仕部門のキーワードとして“Cross Promotion”が挙げられます。新世代奉仕部門のそれぞれの委員会が従来の枠組みを超えて、縦断的連携を図り、お互いに学びあい、協力し合うことによって、それぞれの分野でより有意義な効果的な奉仕活動が達成できる機能を持つべきである、という考えでございます。

本年度、吹田江坂RCがホストを務めました【青少年ニコニコキャンプ】に、初めてインターアクターが協力参加してくれました。今後は、ROTEX、PSC、米山奨学生、GSEの参加協力を促していき、同時にそれぞれのプログラムにも参加と活動に対する理解が必要と思います。

私は常々申し上げて参りましたが、「青少年のリーダーを育てることは、次世代を担ってくれる多くの若者を導くものであり、将来のロータリアンを導くもの」であります。

また、新世代の奉仕活動が「ロータリーへの架け橋」となる、ことを願っております。